





3歳児クラス 1月 第2回 「さるかにがっせん」

★…保育士が準備する教材

シアタータイム

読み方	<ul style="list-style-type: none"> ・「♪はやく めを だせ かきの たね。ださぬと はさみで ほじくるぞ (ちょんぎるぞ)」の場面では子どもたちも一緒に手をチョキチョキさせて参加する。 ・「つる〜ん」「すて〜ん」「どすんどすん」「べたべたべた」など、オノマトペのコトバをリズムカルに楽しく表現する。 ・登場人物の紹介場面はさらりと流さず、それぞれの名称と照らし合わせながら読む。またさるをやっつける場面ではそれぞれの動きがよくわかるように表現する。 	教材	
	<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット) 		
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・保:「♪はやく めを だせ かきの たね。ださぬと はさみで ほじくるぞ (ちょんぎるぞ)」とリズムカルに絵本を持って登場。「今日の絵本です」と手渡す。 ・講: 表紙の絵を見せ、興味をかきたててからスタートする。 	保育士の役割	
		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと一緒に絵本を楽しむ 	

かくしゅうタイム

活動①	記憶	ストーリーを思い出し、絵を見て、自信を持って正しいものに○をすることができる	
設問	子カニを励まし、一緒にかたきうちにサルの家に向かった登場人物に○をしましょう。		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講: 「もう悪いことしませんってさるさん泣いてたね。最初から優しくできたら良かったのにね」 ・保: 「今日は絵本博士からクイズが届いてますよ」とプリントの入った封筒提示。 ・講: 封筒を受け取りプリント提示。「博士からのクイズチャレンジする?」と確認後プリントとクレヨン配布。全員でプリントの絵の名称を一つずつ確認してから「お話を思い出して、良く聞いてね、先生一度しか言わないよ」と問題を提示する。 ・子: お話は自分で考えて正しいものに○をしていく。周りの子どもの答えにとらわれず自信を持って○をする。 ・講: 全体を見て足りない子や間違えてる子が多い場合には「(カニを含めて)全部で5こあるよ」とヒントを出しても良い。○ができた子にも5こを確認する。答え合わせは絵本又はシアターを開いて皆で答えを確認し、スワッやはなまるで賞賛して終了。プリントを一枚めくる。 ※間違えた子には自分で気づけるような言葉がけをし、斜めの線で消す、また足りないときも自分で見つけて○をして皆と同様「できたね」と賞賛して良い。 		P1 クレヨン
	保育士の役割		<ul style="list-style-type: none"> ・プリント提示 ・プリント、クレヨン配布 ・理解できない子のフォロー ・賞賛
活動②	巧緻性	「スタート」「ストップ」の合図でシールを貼ることができる	
設問	木にカキをたくさん実らせましょう。スタートの合図で、カキのシールをたくさん貼りましょう。		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講: プリントめくりながら「今日はクイズのご褒美に柿の木が届いてるよ」とプリント提示。 ・講: 「でも変だね? かきのみ無いねー。さるさん全部食べちゃったのかな? 残念!」 ・保: 「良いものありますよ」と「かきのみ」と称してシールを提示。 ・講: 「甘くておいしそう」と感覚行動を行いながらシール提示。「よし、柿の実いっぱい木にしよう」「OO先生、スタート、ストップ言ってくれる。先生頑張るから」と意欲的な姿勢を見せる。 ・保: 「いいよ、良く聞いてスタートって言ったら貼ってね、でもストップって言ったら貼るのやめてね」と約束を確認し、「いくよー、スタート!」と合図を出す。 ・講: 合図を聞いてシールを貼り、始める見本行動。この時キーワード「シールを 		P2 P2用シール 一人15枚 予備シール おはじき 皿
	保育士の役割		

<p>取ってペタッコン♪」と繰り返し、リズムカルに貼っていくと楽しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 保：6～7枚貼れたところで一度「ストップ！」の合図。 講：「まだまだいっぱいあるね…柿の実でいっぱいになりたいからスピードアップ！みんなでスタートと言ってね」と誘導。今度は子どもたちの「スタート」の合図で緊張感を持って再び貼り始める。 保：緊張感の中「♪はやくみがなれかきのきよ ならなきやはさみでちょんぎるぞ！！」と歌うように唱え応援、楽しそうにシールを貼っていくのも良い。シールが終わりそうな頃合いで、子どもたちを誘導しながら「ストップ」の合図を出す。 講：かきのみでいっぱいになったプリントを見せ「みんなもやってみる？」と確認。 保：配布シール提示。「今日もおはじき5こ交換だよ」 講：おはじきの皿配布。「今日はお皿の中にいくつおはじき入っているかな。数えてみよう」 <p>数にチャレンジ</p> <ul style="list-style-type: none"> 子：皿の中のおはじき「4こ」を数え「1つ」足りないことを確認「5こ」にしてシールと交換する。 <ul style="list-style-type: none"> 講：「まだだよ…」と緊張感を持ち、途中「ストップ！」の合図が出たら一度手を止めることを約束してから「よーい！スタート！」の合図を出す。 子：シールを「ペタッコン」と繰り返しどんどん貼っていく。 講保：しばらくはキーワードを唱えながら応援。 講：途中一度「ストップ！」を入れても良い。全て貼れた所で再び「ストップ！」の合図と共に終了する。 ※途中「ストップ」をかけた時は、貼られた数の状態や意欲的に貼っている様子など評価して「まだまだ！最後までがんばってね」と再び「スタート」の合図を出す。 講保：緊張感の中にも楽しみながら最後まで貼ることが出来るような雰囲気作りをする。シールの剥がし方が弱い子は台紙の端を折るなどのフォロー、また早い子には、追加のシールを与えても良い。 講：「ストップ！」の合図と共にシール貼り終了。柿の実でいっぱいになったことを賞賛し、最後はみんなで味見。最後はストーリーを思い出し「カニさんが欲しいって言ったらみんなならどうする？」など話し合い人を思いやる心の大切さを確認して終了。プリントを回収する。 		<ul style="list-style-type: none"> シール提示 講師に「スタート」「ストップ」の合図、応援 おはじきと交換でシールを渡す 子どもの状況見てフォロー、追加のシールの配布 賞賛 プリント回収
--	--	--

<p>数チャレ</p>	<p>数</p>	<p>おはじきを「5こ」にしてシールと交換することができる</p>	<p>教材</p>
<p>設問</p>	<p>お皿の中のおはじきを「5個」にして柿シールと交換しましょう。あといくつで「5個」になる？</p>		
<p>活動内容</p>	<p>※<活動②>の中で実施します。または「数チャレ」として実施する。</p>		<p>保育士の役割</p>